



『新津郷地名考』は、昭和の初期に郷土史研究家として活躍した加藤辰蔵氏(北上)が、原稿用紙に記載しておいたものです。その一部は昭和二十六年に発行の新津市誌に掲載してありますが、小林存氏が補遺、または異説を加えたものです。地名は、その村々の發祥に綴りがあり、特に小字名は村落の歴史に

つながらる名が多くあります。加藤辰蔵氏の遺稿は、そのほとんどに史料がなく、独自の研究もあるもので一〇〇%は奇り難いのですが、地名の發祥を研究するには興味深いものです。新津、三興野、阿賀浦、満田、荻川、金津、小倉、新関の旧地名のなかから分り易い

ものを選んで、順次掲載します。

■山谷
新津に集落が出来たのは、古津より若干遅かったと思われる。此処は創草期以来山谷と称された地であつたが、港となつて津と呼ばれ、やがて新津と呼ばれるに至つたが、新津氏が新津へ拠つた天福頃(一二三三)は一般に新津と呼ばれたけれども、古名の山谷なる地名は併せ称された。

即ち其の下山谷に新津氏の築いた山谷城跡がある。新津系譜には「新津城、一

谷地内は古代沢山の栗の木があつたので彼等間にヤマ・ヤと親しんだ地名が、後任の日本人間で伝承のまま襲用され、漢字の山谷を充當したのであらうと解される。

新津郷地名考

各字の地名沿革①

山谷と称する地が港となつた初期は単に津と言ひ、後に古津と紛らわしくないように、新の字を付け、新津と称した。然し旧称は全然廃止されることなく、山谷の地名は今日も残っているのは蓋しこれに基因するものであらう。

この山谷という呼喩は現地に山も谷もなく、又昔からそれらあつた形跡は全く海抜僅か四角の平坦地である。此の地に伝うる文獻、口碑伝説も無く、全く難解の地名である。然し此処は古代海岸線で、地形から古代アイヌ人の占拠して居つたと想像される点もあり、アイヌ語から解釈して、ヤマとは栗の木のこと、ヤとは本来陸のこと岬、半島などの意もあつたに、岬状の陸地のことである。即ち栗の木が生えている陸の意である。

栗の実はいヌ人には大切な食糧で、山谷地内は古代沢山の栗の木があつたので彼等間にヤマ・ヤと親しんだ地名が、後任の日本人間で伝承のまま襲用され、漢字の山谷を充當したのであらうと解される。

山谷は美に新津古名である、發祥の地であるところである。

(注) 小林存氏は、山谷は山手方面の陸路と言ひ、ヤは古語で楔のこと、楔を打ちこんで切開いたような場所をヤツといひ、谷は宛字と記している。

※地名に関する言い伝えやご意見がありましたら市史編さん室(☎24-5599)へご連絡ください。

工業統計調査

ご協力をお願いします



立県百年記念

県史の予約を受け付けます

県では、立県百年の記念事業として「新潟県史」を編さんしてきましたが、昨年に引き続き、来年の三月に次の二巻が刊行されます。刊行予定の二巻は、資料編と通史編です。いま購入の申込みを受け付けています。

●資料編二四(民俗・文化財三 文化財編)：四千七百円 ●通史編一(原始・古代)：三千六百円(いずれも送料は含みません) なお既刊の二十三巻もまだ在庫があるそうです。ぜひお求めください。官製は購入希望の方は、官製はがきに住所、氏名、購入巻

通商産業省では、十二月三十一日現在で製造業に類する事業所を対象に、工業統計調査を行います。

十二月下旬、対象の事業所に、調査員が伺います。ご協力をお願いします。

お問い合わせは、市役所総務課統計係(☎24-2111内線233)へお問い合わせください。

名、冊数、公私用別、電話番号などを記入のうえ、次へお申し込みください。

□申込先：〒950 新潟市新光町四一 新潟県総務部県史編さん室(☎0252-8515511内線2101)

クリスマス会

ご参加ください

図書館では、次のように「クリスマス会」を開きます。ご参加ください。□とき：十二月二十四日(火)の午後二時三十分から □ところ：視聴覚ホール □内容：人形劇 腹話術 お話し、読み聞かせなど ※当日は、グループ「からたち」の皆さんが演出されます。

お買物、ご用命は市内で

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院
預り・健康管理 <月曜日休診・急患随時>

ニイツ動物病院

獣医師 白杉友義 獣医師 白杉多恵子
新潟市本町2丁目7番21号 ☎22-5976・24-6262
(総合結婚式場「一東」より五方面へ200m左側)

銘菓雪かこい
和洋菓子司
駿河屋
TEL 025-543

銘菓栗太郎
和洋菓子司
田家屋
TEL 025-0430